



くすやま美紀 医療・介護 報告

命とくらしを守るために

私は、西荻窪診療所で医療事務を通して学んだことを生かし、区議として5期20年、区政が区民の命とくらしを守るよう、発言してきました。この間の主な活動について報告します。

国民健康保険料

値上げ許さず引き下げ迫る

診療所勤務時代、保険証がなく支払いを心配する患者さんに接してきた経験から、最も力を入れてきたのが国保問題です。毎回の予算・決算委員会では欠かさず質問。質問回数はこの4年間だけでも16回です。値上げに反対するだけでなく、多子世帯の均等割り軽減条例案も議員権限で作成・提案しました。区は、黒字が続き積立を増やしています。その一部を回すだけで、値上げをおさえ、値下げは可能です。値下げに向けて全力をあげます。

介護・認知症対策

負担軽減へ助成を提案

介護施設の増設にも取り組み、荻窪UR団地の建替えを機に特養ホーム整備を提案。実現となりました。

認知症対策も重視し、相談・訪問医療の強化を求め、区も前向きに答弁しました。認知症グループホームの家賃助成も区議会ですべて提案。関係者から「ぜひ実現を」の声が上がっています。



UR団地に整備された特養ホーム

高齢者の暮らし支援

シルバーカー、補聴器にも助成を

都の補助金を、各区がどのように区民サービスに利用しているか調べた結果、新宿区や江東区では、シルバーカーや補聴器の購入助成や支給に活用していることがわかりました。予算特別委員会でも、こうした他区の取り組みを紹介し、杉並区でも都の補助金を使って支援の拡大を提案しました。実現に向けてがんばります。



シルバーカー

子育て支援

新生児の聴覚検査助成へ支援を

子ども医療費の中学生までの拡大など、医療分野での子育て支援に取り組んできました。

今年の予算特別委員会では、新生児への聴覚検査の費用助成を取り上げ、区は今年度から3千円の助成をすると表明。都の補助を使った再検査の支援体制推進事業の検討も求めました。





くすやま美紀さんを 私たち医療関係者は推薦します

くすやま美紀さんとの出会いはずいぶん古く、彼女が18歳で上京してきたときからです。お兄さんが経営する西荻のロシアレストランでアルバイトをしながら、母せの子の活動も手伝っていただきました。
その後、西荻窪診療所の職員になり、区議会議員に立候補し、区民の命とくらしを守って5期20年活動してきたことは、素晴らしいことだと思えます。
これからも、医療・介護のエキスパートとして、頑張ってくれることを期待します。

医師・医療法人社団健生会 前理事長 児嶋徹

児島せの子さんに背中を押されて

私が日本共産党に入党したのは、1982年7月15日、党創立60周年の日でした。そのとき、私の背中を押してくれたのが、元区議会議員の故・児島せの子さんでした。「あなたの一歩が歴史を動かす力になるのよ」と激励してくださいました。

区議会議員に立候補を決意したのも、地域のみなさんのために献身的に努力するせの子さんの姿を見てきたからです。これからも、区民に寄り添い、願い実現に全力を尽くしていきたいと思えます。

くすやま美紀



くすやまさんとは、26年前に彼女が診療所に入ってから6年間いっしょに働きました。患者さんにやさしく接し、仕事に対しても粘り強く取り組むがんばり屋さんでした。いろんな悩みをかかえた患者さんに誠実に対応してきた経験が、区議会議員としての土台にあると思えます。区民の命と健康を守るため、ひき続き頑張ってほしいと思います。

西荻窪診療所

元看護師長 三浦瞭子



西荻窪診療所の先輩であり、医療・介護のことを考え、信頼できるくすやまさんに、これからも頑張ってもらいたいです。

西荻窪診療所 看護師長 義村典子



西荻窪診療所の受付で

- 西荻窪診療所 元所長 辻恵美子
- 桃井診療所 前所長 野田義人
- 桃井診療所 看護師長 徳重節子
- 桃井診療所 事務長 小西理枝
- 元西荻窪診療所 看護師 田代百合子
- 元西荻窪診療所 医療事務 小林和苗

◆くすやま美紀プロフィール

1963年福島県生まれ。東京観光専門学校卒業後、東友会（被爆者団体）事務局、西荻窪診療所等に勤務。1999年杉並区議会議員初当選。現在5期。区議会保健福祉委員長、区民生活委員長、党区議団幹事長等歴任。党区議団長。趣味は、音楽・映画・絵画鑑賞